

# 研究部会

年度	月日 場所	参加者	内 容	講 師
平成9年度 地球環境 研究部会 シンポジウム	1/30～31 東京	214	気候変動問題をめぐる国際情勢と日本の立場 ①基調講演  ②パネルディスカッション	通産省大臣官房審議官 石海 行雄 東京大学 石谷 久  通産省大臣官房審議官 石海 行雄 東京大学 石谷 久 電中研 内山 洋司 東洋学園大 岡本 和人 環境庁 小林 光 東京大 山地 憲治 (司会) 東京大 山田 興一
平成11年度 若手 夏の学校	8/26～28 静岡	50	(1)エネルギー資源システムに関する集中講義例 ・エネルギーモデルの開発論, DSMなどの負荷管理理論, ライフサイクル評価手法, エネルギー環境システム論 (2)上級研究者による特別講演 (3)若手シンポジウム 等	
平成12年度 サマー ワークショップ	8/28～30 東京	86	(1)エネルギー・資源・環境の諸問題 (2)グループミーティングの実施 (3)施設見学	
平成13年度 サマー ワークショップ	8/9～10 千葉	100	(1)エネルギー・環境の諸問題に関する特別講演およびパネルディスカッション i 地球環境問題における工学と経済学の接点—金融工学とエネルギー・環境問題— ii 微量物質のリスク分析のための医学と経済学の接点 —環境経済学と地域環境問題— (2)ブレインストーミング	
平成14年度 サマー ワークショップ	8/1～2 東京	100	京都メカニズムおよび国内関連制度の検討と環境ビジネスの可能性 (1)京都メカニズムおよび国内の京都議定書関連制度に関する特別講演 およびパネルディスカッション (2)グループミーティング(ブレインストーミング)の開催 ①CDMの制度設計と環境ビジネスの可能性 ②排出権取引に関する国内制度の可能性 ③海外および国内における有望プロジェクトの技術評価 ④CDM投資の市場性検討 ⑤国内における温室効果ガス削減プロジェクトの制度的支援の可能性 等	
平成15年度 サマー ワークショップ	9/11～12 東京	65	京都メカニズムおよび国内関連制度の検討と環境ビジネスの可能性 (1)京都メカニズムおよび国内の京都議定書関連制度に関する特別講演 およびパネルディスカッション (2)グループミーティング(ブレインストーミング)の開催 ①JI・CDMの制度設計と環境ビジネスの可能性 ②排出権取引に関する国内制度の可能性 ③海外および国内における有望プロジェクトの技術評価 ④JI・CDM投資の市場性検討 ⑤国内における温室効果ガス削減プロジェクトの制度的支援の可能性 等	
平成15年度 オータム ワークショップ	10/28～29 三重	11	ガスタービン技術と発電所の保守・運用技術の実際 *中部電力(株)川越火力発電所を見学 *ガスタービン技術に関する講義(各部の構造, 設計思想とその変遷など) *火力発電所の運用に関する講義(運用法, 制御法, 点検・診断・保守法など)	

年度	月日 場所	参加者	内 容	講 師
平成16年度 オータム ワークショップ	9/27～29 京都	14	燃烧・石炭発電プラントを体験しよう *日立造船(株)環境総合開発センター見学 *関西電力(株)舞鶴火力発電所見学	
平成16年度 地球温暖化 対策 ワークショップ	11/15～16 東京	67	ポスト京都の国際および国内関連制度と長期的対策の可能性 (1)特別講演 ①ポスト京都、長期エネルギー需給シナリオ、および京都メカニズムに関するテーマ (2)グループミーティング(ブレインストーミング)の開催 ①ポスト京都の制度の変移と国内制度の関連 ②ポスト京都の交渉枠組の分析 ③2050年-超長期を考慮に入れた日本の低炭素社会シナリオ- ④JI・CDM今後とその市場性検討 ⑤民生・運輸部門のGHG排出削減策	
平成17年度 サマー ワークショップ	8/19～20 愛知	72	京都議定書遵守のために我々がやらなければならないことは何か？ (1)特別講演 ①自動車と環境問題:燃料電池車の現状と課題 ②企業間の省エネ技術取引と自主参加型排出量取引試行事業の意義 ③分散型エネルギーシステムの役割と課題 (2)グループミーティング(ブレインストーミング)の開催 ①分散型システムの方策 ②交通部門の対策 ③GHG削減に向けた基盤づくり ④循環型システムでの対策 ⑤水素システムと電気システムの融合	トヨタ自動車 大仲 英己 名古屋環境取引所 向井 征二 名古屋大学 鈴置 保雄
平成17年度 オータム ワークショップ	9/29～30 愛知	22	元気な名古屋企業の工場のエネルギー管理と、製造現場を見る ①デンソーにおける省エネ活動、エネルギー管理、電気設備のメンテナンス・更新計画・診断技術等 ②大同特殊鋼におけるエネルギー使用及び管理状況・省エネ技術の導入状況 *(株)デンソー西尾製作所見学 *大同特殊鋼(株)知多工場見学	デンソー 山崎 裕一 石井 武 デンソーファシリティーズ 岡田 富男 大同特殊鋼業 森 義昭 福井 義久
平成18年度 サマー ワークショップ	9/22～23 大阪	66	自分の問題として持続可能なエネルギーシステムについて考える (1)特別講演 ①なぜ長期的視点が必要か:脱温暖化社会構築に向けた挑戦 ②水素エネルギー・燃料電池の本格的普及に向けて ③都市エネルギーシステムの今後と若手研究者への課題 (2)グループミーティング(ブレインストーミング)の開催 ①都市・集中 ②地方・分権 ③制度 ④産業 ⑤制度	国立環境研究所 藤野 純一 内閣府 本田 國昭 大阪大学 辻 毅一郎

年度	月日 場所	参加者	内 容	講 師
平成18年度 オータム ワークショップ	9/25～26 滋賀 大阪	20	ものづくり・省エネルギーの設計思想に触れる 冷蔵庫の商品開発と製造工場、および、廃棄物発電プラントと運転シミュレーター ①工場概要及び冷蔵庫工場について ②冷蔵庫の環境・省エネルギー・リサイクル等への取り組みについて  *松下冷機(株)冷蔵庫工場見学 *日立造船(株)南港本社(ごみ焼却施設マルチプラントのデモ)見学 *大阪市環境事業局 舞州工場見学	松下冷機 辻 一郎 松下冷機 山田 宏
平成19年度 サマー ワークショップ	9/3～4 茨城	36	持続可能なエネルギーシステム構築に向けた、イノベーションの役割は何か (1)特別講演 ①—官の視点から—今何故、イノベーション政策なのか？ ②—産の視点から— 温暖化防止と省エネ社会実現に向けた電機・電子業界と松下電器の挑戦 ③—学の視点から— グローバル・サステナビリティに向けたイノベーションの創成 (2)グループミーティング(ブレインストーミング)の開催 ①交通 ②民生 ③産業 ④都市 ⑤循環 ⑥エネルギー供給等	科学技術振興機構 有本 建男 松下電器産業 菅野 伸和 東京大学 檜目 雅
平成19年度 オータム ワークショップ	9/19～20 埼玉	9	エネルギー多消費型産業の設備設計・運用の実際を学ぶ ①工場紹介・省エネ技術の紹介など ②循環型社会におけるセメントの役割  *太平洋セメント(株)熊谷工場見学	太平洋セメント 長谷川文雄 菅野 知之 太平洋セメント 尾花 博
平成20年度 オータム ワークショップ	9/25～26 広島	18	メタルカラー・重厚長大産業のものづくり現場に学ぶ ①呉工場の造船工程と品質管理活動 ②総合環境ソリューション企業を目指すバブコック日立的のモノづくり  *(株)アイ・エイチ・アイ マリンユナイテッド呉工場見学 *バブコック日立(株)呉事業所工場見学	アイ・エイチ・アイ マリンユナイテッド 寺際 賢治 バブコック日立 河原 渉
平成20年度 温暖化 ワークショップ	12/17 東京	53	次期枠組みに向けた国内外の最新動向 —カーボンチャンスはどこか？— (1)特別講演 ①地球温暖化対策の将来枠組構築に向けた論点 ②COP14の概要と成果:次期枠組みの議論の動向と今後 ③次期枠組み問題の動向分析と国内における新制度について (2)グループ討論	日本エネルギー経済研究所 工藤 拓毅 国立環境研究所 亀山 康子 東京大学 松橋 隆治
平成21年度 サマー ワークショップ	9/24 東京	66	日本の2020年の温室効果ガス排出量(中期目標)を読み解く (1)演者による中期目標に関する解説  (2)グループディスカッション	国立環境研究所 藤野 純一 国立環境研究所 花岡 達也 地球環境産業技術研究機構 秋元 圭吾 日本エネルギー経済研究所 松尾 雄司 東京大学 松橋 隆治

年度	月日 場所	参加者	内 容	講 師
平成22年度 サマー ワークショップ	8/26 ～27 東北	56	低炭素社会を実現するために ～地域の視点から考える～ (1)講演 ①地域に根ざした低炭素エネルギーのかたち スマートエネルギーシステム構想 ②『杜の都』が育む低炭素社会形成の萌芽 (2)パネルディスカッション  (3)グループディスカッション (4)グループ別プレゼンテーション	東北大学 中田 俊彦 仙台市 佐藤 幸代 東北大学 中田 俊彦 仙台市 佐藤 幸代 農林水産省 佐分利応貴 宮城県 後藤 康宏
平成23年度 サマー ワークショップ	9/15 ～16 京都	31	スマートなエネルギーネットワークに向けて (1)講演 ①スマートなエネルギーネットワークに向けた動き (2)幹事団ディベート テーマ:集中型エネルギーシステムVS分散型エネルギーシステム (3)グループディスカッション テーマ:けいはんなの自治体へ新しいエネルギーネットワーク 構築事業計画を提案する (4)グループ別プレゼンテーション	大阪大学 辻 毅一郎
平成24年度 サマー ワークショップ	8/9 ～10 大阪	44	関西で考えるこれからの電力需給対策 (1)講演 ①関西の電力需給の状況と節電の必要性 ②2011年東日本の節電を振り返る ③停電予防連絡ネットワーク 概要と効果について (3)交渉ロールプレイゲーム (4)総合ディスカッション・総括	大阪大学 下田 吉之 電力中央研究所 西尾健一郎 科学技術振興機構低炭素社会戦略センター 木村 道德
平成25年度 サマー ワークショップ	9/2 ～3 北海道	45	科学がはぐくむ政策の種:北海道のエネルギー戦略を考える (1)講演 ①道内におけるエネルギーの現状と課題 (2)ディベート (3)総合ディスカッション・総括	北海道経済部産業復興局 倉本 博史
平成26年度 サマー ワークショップ	9/1 ～2 東京	37	東京2020を目指したエネルギー事業案を競う (1)講演 ①2020オリンピックに向けて東京の街づくりを考える ②エネルギーデータを活用したスマートビジネス戦略 (2)ディベート (3)総合ディスカッション・総括	葦原計画事務所 葦原 敬 NTTファシリティーズ 松下 傑
平成27年度 サマー ワークショップ	8/31 ～9/1 群馬	39	くらしの省エネルギーと住みやすさ・健康の両立を考える (1)基調講演 ①突き抜ける環境都市 (2)講演 ①住宅の省エネルギーと熱・空気環境問題について (3)パネルディスカッション (4)ディベート	前橋市長 山本 龍 前橋工科大学 三田村輝章

年度	月日 場所	参加者	内 容	講 師
平成28年度 サマー ワークショップ	9/1(木) ～ 9/2(金) 筑波	26	パリ協定後のエネルギー技術を考える (1)基調講演 ①気候変動問題と社会のトランスフォーメーション(試論) (2)講演 ①エネルギー技術イノベーションと社会のトランジション ②ベンチャーキャピタルから見たクリーンテック (3)ディベート	国立環境研究所 江守 正多 東京大学 杉山 昌広 東京大学エッジキャピタル 辻 秀樹
平成29年度 サマー ワークショップ	8/21(月) ～ 8/22(火) 長崎	25	長崎で原子力エネルギー技術の未来を社会とともに考える (1)基調講演 ①3.11後の原子力政策の課題 ②低炭素社会の革新炉 ③核融合エネルギー開発の動向 ④放射線被ばくと健康影響～長崎, チェルノブイリと福島 (2)ディベート (3)パネルディスカッション	長崎大学 鈴木達治郎 エネルギー総合工学研究所 松井 一秋 地球環境産業技術研究機構 魏 啓為 長崎大学 高村 昇
平成30年度 オータム ワークショップ	10/27(土) 東京	31	私たちのエネルギーシステムをどのようにデザインするか (1)パネルディスカッション	資源エネルギー庁 石田 裕之 北海道大学 三上 直之
令和1年度 オータム ワークショップ	11/16(土) 東京	30	デジタル化から期待される新たな電力ビジネスとは (1)講演 ①デジタル時代における新しい電力流通とその可能性 —P2Pによる協調メカニズム— ②電力のデジタルトランスフォーメーション ”Energy as a Service” ③再エネ価値を高める「トレーサブル」な電気の供給 —世界初のブロックチェーンによる電力トレーサビリティの商用化— ④ちちぶ地域における秩父新電力による持続可能なまちづくりに向けた挑戦 ～自治体新電力におけるAI・ビッグデータの活用事例を交えて～ (2)パネルディスカッション	東京大学 田中 謙司 電力中央研究所 芦澤 正美 みんな電力 三宅 成也 秩父新電力 滝澤 隆志
令和2年度 オータム ワークショップ	10/26(月) 11/2(月) オンライン	30	長期温暖化対策シナリオと企業のリスク戦略 (1)講演 ①企業の気候変動シナリオプランニングとリスク戦略 ②多様な将来シナリオ: SSP (2)チュートリアル「IPCCシナリオ・データベースのチュートリアル」 (3)グループワーク「エネルギー・資源業界に関わる団体のTCFDを考える」	デロイトトーマツコンサルティング 丹羽 弘善 京都大学 藤森真一郎 東京大学 杉山 昌広
令和3年度 サマー ワークショップ	9/13(月) オンライン	31	ネット・ゼロの生活を描くー脱炭素は私達の生活のなにをどこまで変えるのか?ー (1)講演 ①脱炭素で進む交通システムの新技術 ②脱炭素が変える私たちの食の姿 ③フューチャー・デザイン 将来世代を考慮した意思決定と社会変革に向けて (2)パネルディスカッション	日本サステナブル・エナジー 大野 嘉久 不二製油グループ本社/立教大学 河口真理子 大阪大学 原 圭史郎